

新スタッフ紹介



とやまスタッフ

にしやま さわ
西山 桜和

出身地 新潟県上越市

富山の好きなところ 夜明るい、電車の本数が多い
(私の地元、上越市と比べて)

好きな食べ物 オムライス

Voice

富山大学芸術文化学部芸術文化学科一年西山桜和です。アルバイトの面接に全て落ちていて気持ちが凹んでいたところ、前スタッフのピリムさんからまちスポとやまを紹介していただきました。人の縁から自分の活動が広がっていくのだと驚きました。

私は本が好きで、小説や新書、絵本なども読むのですが、富山に来てから本好きの人に出会うことが多くなり、自分の知らなかった本に出会えてとてもうれしいです。富山には古本屋が多く、イベントも盛んなので自分の好きな本をどんどん発掘していきたいです。まちスポとやまでの業務は私が今まで学習してきたことをフルで活用していますが、今の自分に足りないところや今後伸ばしていくところを発見できてとても楽しいです。これからはもっとまちスポとやまの活動を知り、自分のやりたい表現の手段につながる知識を吸収していきたいです。

Voice

子どもが少し大きくなり外との繋がりがほしい、と思っていたところご縁がありお手伝いさせていただくことになりました。私は短大卒業後、高山にて5年ほど勤め、ワーキングホリデービザを利用しオーストラリアに滞在していました。そこではいろんな国籍の方と交流し、文化や考えなどを知ることができ、沢山の刺激を受けました。お手伝いさせていただくようになって知りましたが、まちスポ飛騨高山はこんなところも!とびっくりするくらい本当に沢山の方との繋がりがありません。そんな方々と関わらせていただき、いい刺激を頂きながら、みなさんのお手伝いができればと思っています。まだまだ分からないことが多々ですが、今までに培ってきた経験を活かし楽しく頑張っていきます。

まちスポの窓



年末に猫とこたつで過ごします
ケルシー



Netflixの沼にはまっています
倉本



今年来るのはさや香
西山

12月のホームページ更新

<http://machispo.org>



- 利用料金等改定のお知らせ
<http://machispo.org/info/>
- 年末年始のお知らせ
<http://machispo.org/kyukan/>
- 会報106号
<http://machispo.org/kaihou-106/>
- 第13回スキマ研究会
<http://machispo.org/sukima13-2/>
- 「スキマ研究会」&「白書を読み解く会」のおしらせ
<http://machispo.org/sukimaschedule/>



さるぼぼコイン
クレジットでの
賛助会員入会が
可能になりました!

詳しくは
こちらを
ご覧ください!

<http://machispo.org/donation>



活動を応援してくださる方を
募集しています。

個人年会費 1口 ¥3,000
法人年会費 1口 ¥5,000

納入先

郵便振替 00840-9-183216 特定非営利活動法人まちづくりスポット
飛騨信用組合 松泰寺支店(普) 0793442 特定非営利活動法人まちづくりスポット
高山信用金庫 駅西支店(普) 0166788 特定非営利活動法人まちづくりスポット

毎月の事業報告!

2023.1.15 January

会報

まちスポ

Machispo Vol.107

メリークリスマス☆

Since 2012.3.4



スキマ研究会「白書完成」

大変長らくお待たせしていた「ひだスキマ白書2022」が完成致しました!この制作プロジェクトには、クラウドファンディングをはじめ、アンケート、インタビュー、集計、校正、などたくさんの方に温かいご支援・ご協力をいただきました。心から感謝申し上げます。クラウドファンディングにてご支援いただいた皆様へ、返礼品としてお届けします。読んだ感想をお寄せいただければうれしいです。この白書は、2023年1月～3月に開催される勉強会にて配布を予定しています。皆様のご参加、お待ちしております!

この発行を機にコミュニティ財団設立に向けて、私達は動き出します。地域課題解決への第一歩です。これからも応援の程よろしく願いいたします。



勉強会・イベント情報はこちらから

<http://machispo.org/sukimaschedule/>



第26回 ワールドバー

11月に開催した第25回ワールドバーに続けて12月開催の第26回ワールドバーでも外国人防災に取り組みました。

前回のワールドバーでは、地震が起きた時の身の守り方、自宅や職場からの避難所の場所と避難経路を高山市民防災研究会の皆さんと一緒にハザードマップを使って確認し、避難所に持っていく持ち出し用品をグループで話し合いました。避難所となる体育館などでの生活用品は1人1人が必要と考えるものが違うことから、自分で用意をする大切さを学びました。

参加者の中には、地図上での自宅の場所や避難所となる施設が分からない方も多く見受けられ地元の防災士のアドバイスのもと確認していました。

ベトナム人の参加者が地震災害を知らなかったことから今回のワールドバーでは、日本で起こる可能性のある災害を知ってもらい、身の守り方と被災後の生活について考えてもらいました。電気が止まるとガスや水道などのライフラインが止まってしまうことを伝え、それによって何が困るかを皆で話し合いました。事前に想像することで必要な備えを理解し災害が起こったあとの対策を考えるきっかけとなりました。防災食作りのワークショップではポリ袋を使ったレシピに挑戦しました。コープ生協ぎふから提供いただいたパスタ・マカロニ・ホットケーキミックスの食材を使いライフラインが止まっても温かい食事が作れることを学びました。

外国人防災



開催日:2022年12月18日(日)10:00~12:00

参加者:11名

協力:コープ生協ぎふ飛騨支所
高山市民防災研究会



2023年1月15日発行(通巻107号)

発行:認定NPO法人 まちづくりスポット 発行者:竹内 ゆみ子 編集:五十嵐 浩子

〒506-0025 岐阜県高山市天満町1-5-8フレスポ飛騨高山内 TEL 0577-62-8550

FAX 0577-62-8580

✉ info@machispo.org

事務局休館日:毎週火曜(火曜祝日の場合は水曜日)年末年始



かすてら文庫
ほりち
主催 堀地はるみさん

親子、人と人がつながる場所をつくる かすてら文庫

今回紹介する堀地はるみさんはまちなかサロンで「かすてら文庫」を主催されています。かすてら文庫は絵本を通して親子の関わりにホッとした時間を届けています。この活動のきっかけやその魅力、堀地さんの想いなどを存分に語っていただきました。

かすてら文庫のきっかけ

1998年から富山市に委託され、親子で本に親しむ活動を行ってきた堀地さん。絵本が大好きで、絵本や児童書を用意してご自宅に私設文庫を開いていました。そこは、小学生くらいまでのお子さんがいつでもきて本を読んだり、自宅にいる動物たちと戯れたりする空間になっていたそうです。ただ、コロナ禍の影響で、自宅にある文庫を開放することが出来なくなってしまいました。当時、保育園等で行っていた読み聞かせの参加者からは「平日に本を読む場所がほしい」との要望もあり、ご自身がパーソナリティをつとめ絵本を紹介するラジオ番組も一区切りついたことが、まちなかサロンでの活動を始めるきっかけになったと言います。かすてら文庫は現在、平日と休日の両方で活動を行うスタイル。休日に来るのが難しい親子にも平日の午前中に活動を行うことでよりたくさんの親子に利用してもらえています。

親子で読んでほしい本をセレクト

親子で図書館に行っても本が多くてどの本を読んだらいいかわからないという経験をした方も多いのではないのでしょうか。子どもに読み聞かせる本となると、子どもが読みたい本と読み聞かせたい本との齟齬が生まれることも。かすてら文庫では、「絵本専門士」の資格を持つ堀地さんが1000冊以上の蔵書の中から親子で読んでほしい季節や参加者の年齢層に合わせた



本をセレクトして持ってきてくれます。絵本の種類も豊富で、仕掛け絵本や触って楽しむ絵本、オルゴール付きの絵本など、他では手に取れない絵本も読むことができると好評です。

かすてら文庫はホッとする場所

本を通して親子がふれあい、さらに一緒に本を読むことでぬくもりが生まれるという経験を多くの親子にしてほしい、そうした「絵本の魅力」を発信していく、そのサポーターとして堀地さんは活動を行っています。

「ふだんは読み聞かせが中々難しい親子でも、この場所に来るだけで子どもとの時間を過ごすきっかけになれば。そして、かすてら文庫が子育て中の親子にとってホッと心が安らぐ場所になり、この場所から目に見えなくてもつながりが広がっていく、そんなキーステーションにしていけたら」と、優しい笑顔で活動への想いを語っていました。



ご連絡はこちらまで

▼ まちスポ飛騨高山

〒506-0025 岐阜県高山市天満町1-5-8(フレスポ飛騨高山内)
TEL: 0577-62-8550 FAX: 0577-62-8580
E-mail: info@machispo.org HP: http://machispo.org

▼ まちスポとやま

〒930-0083 富山県富山市総曲輪4丁目4-3(総曲輪レガートスクエア内)
TEL: 076-461-3332 FAX: 076-461-3359
E-mail: toyama@machispo.org HP: http://machispo.org

総曲輪レガートスクエア「まちなかサロンの冬休み」



今回のまちなかサロンの冬休みでは、11組の親子が参加し、ハーブを使ったお正月向けリースのワークショップを開催しました。講師の総曲輪ハーブの会・森野先生が用意した13種類のハーブや縁起物の植物を使用し、各自が自由な形のリースを作成していました。途中で上手くないことも講師に何度も質問に行ったり、お手本を見たりして子どもたち自らが手を動かしながら、親子で協力する姿が印象的でした。でき上がったリースのポイントを熱心に話してくれる子どもたちの微笑ましい姿も見られました。参加者は「飾りを束にして縛るのが難しかったけど、楽しかった」「家で飾るのが楽しみ。また参加したい」と話していました。

書き初め大会練習会

まちなかサロンの冬休み企画の第2弾は「書き初め大会練習会」。昨年からのリピーターも多く、人気の企画。広い場所で集中して練習でき、指導を受けられると好評です。講師は、まちなかサロン登録団体の紫扇書道サークルの高瀬先生。さらに昨年から地元の書道部の高校生も積極的に参加してくれています。一人ひとり丁寧に見てまわる講師の先生や同じ目線でアドバイスをくれる高校生ボランティアのおかげで、2時間という限られた時間の中でみるみる上達していく子どもたち。名前を書き入れ、本日一番の作品が出来上がったころには、達成感あふれる表情を見ることができました。

開催日：2022年12月25日(日)10:00～12:00
参加者：11組(小学生・幼児14名、保護者12名)
協力：総曲輪ハーブの会



開催日：2022年12月26日(月)10:00～12:00
参加者：12組(小学生14名、保護者14名)
協力：紫扇書道サークル、富山高校書道部4名



総曲輪レガートスクエア5周年記念 「元氣さがしブック」発行

総曲輪レガートスクエア開設5周年を記念して、まちなかサロン使用団体紹介冊子「元氣さがしブック」が発行されました。こちらは、この夏まちスポとやまでインターンシップに参加した窪田さんと富田さんが、37の登録団体の皆さんに取材をし、集めた情報を構成して作成しました。

無事11月27日の「まちなかサロンの文化祭」で初お披露目ができ、文化祭に来場された方やまちなかサロンで活動する皆さんに、窪田さん、富田さんが直接冊子を渡す場面もありました。冊子の評判もよく、「きれいに作ってもらえてうれしい」という声もいただきました。新しくコミュニティや活動を始めたい方の一歩に役立てればと思います。

発行：総曲輪レガートスクエア協議会
まちスポとやま(官民連携事業受託者)

掲載団体：37団体

